

2021年度
決算説明資料

2022年2月10日

株式会社太陽工機
(証券コード:6164)

1



決算概要

2



2022年度
通期計画

3



経営戦略

Financial Results

決算概要

受注高

88.3 億円 前期比 + 107.0 %

- ▶ 期初より四半期ごとに回復し、前期比倍増
エリアでは中国・日本、業種では産業機械・工作機械関連が貢献

売上高

66.8 億円 前期比 ▲ 5.6 %

営業利益

5.9 億円 前期比 + 16.4 %

営業利益率

9.0 % 前期比 + 1.7 p

- ▶ 下期（7-12月）は、前年同期比増収増益へ転換
通期営業利益は、コストマネジメントにより営業利益率9.0%で着地

年間配当

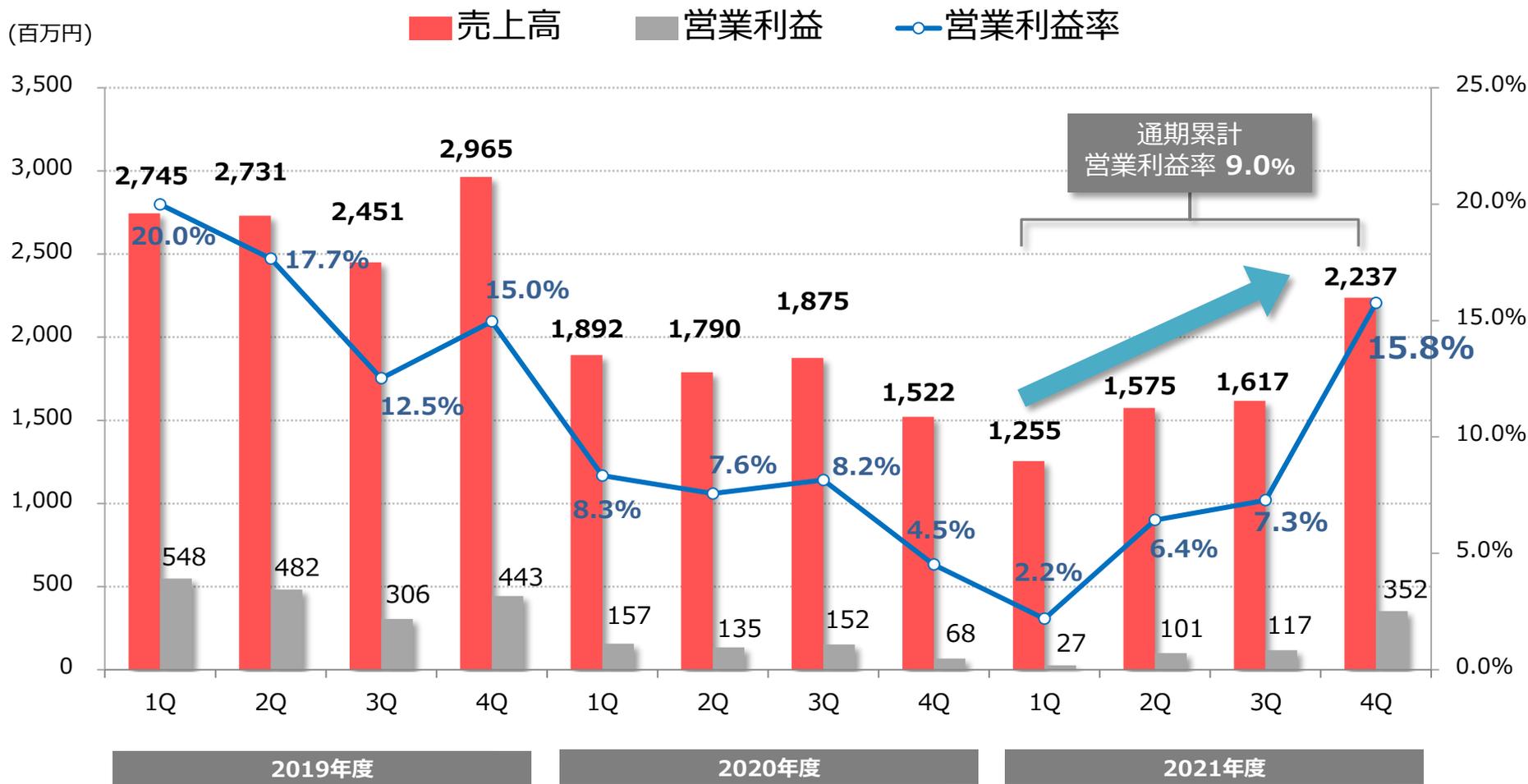
1株あたり 30 円（前年同額）

- ▶ 今後の新工場建設資金を勘案の上、配当性向30%を目安として
安定的な配当と持続的な増配を目指す

受注増加で下期挽回し、利益面は前期比プラスへ

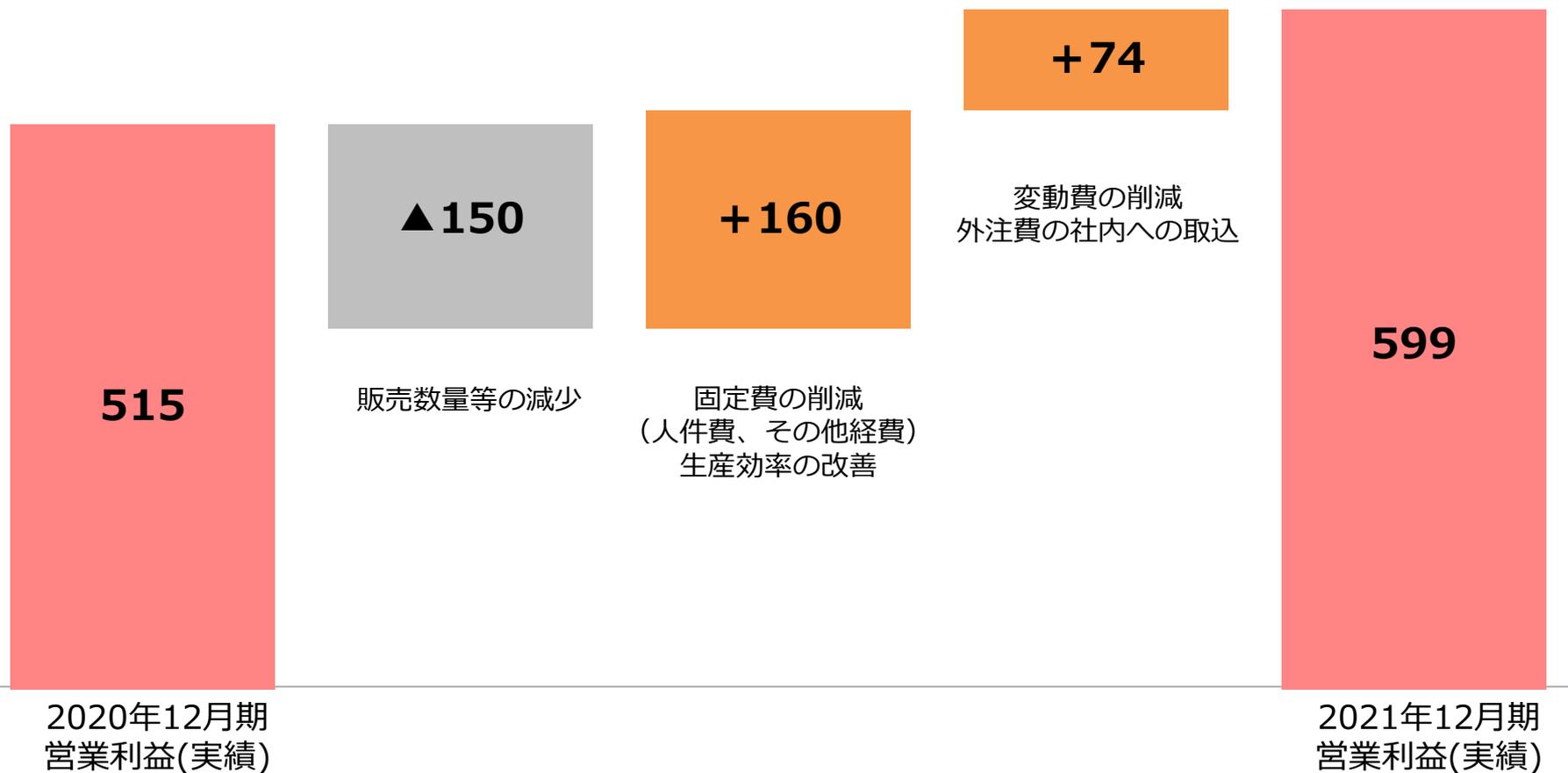
(百万円)	通期 (1-12月)		前期比
	2020年度	2021年度	
受注高	4,269	8,838	+ 107.0%
売上高	7,082	6,687	▲ 5.6%
営業利益	515	599	+ 16.4%
営業利益率	7.3%	9.0%	+ 1.7p
経常利益	516	652	+ 26.3%
当期純利益	345	441	+ 27.8%

期中受注・期中売上により売上・営業利益ともに第1四半期を底に回復



コストマネジメントにより、増益確保

(単位：百万円)



受注及び受注残増加を背景に棚卸資産増加

(百万円)	2020年度		2021年度	
	12月31日	12月31日	増減	
資産の部				
流動資産	6,082	6,790	707	
現金及び預金	2,721	2,458	▲ 262	
売掛金	1,610	2,078	467	
棚卸資産	1,699	2,171	472	
前払費用	36	22	▲ 14	
その他流動資産	14	59	44	
固定資産	1,255	1,129	▲ 125	
建物	472	439	▲ 33	
土地	312	312	0	
その他有形固定資産	204	152	▲ 52	
無形固定資産	61	54	▲ 6	
長期前払費用	53	7	▲ 46	
繰延税金資産	92	100	7	
敷金及び保証金	55	61	6	
資産合計	7,337	7,920	582	

(百万円)	2020年度		2021年度	
	12月31日	12月31日	増減	
負債純資産の部				
流動負債	626	1,353	727	
買掛金	177	391	213	
リース債務	73	268	195	
未払金	107	133	25	
未払費用	67	81	13	
未払法人税等	93	153	60	
前受金	—	252	252	
製品保証引当金	48	68	19	
その他流動負債	57	6	▲ 51	
固定負債	290	—	▲ 290	
リース債務	268	—	▲ 268	
長期未払金	21	—	▲ 21	
純資産	6,420	6,566	145	
株主資本	6,420	6,566	145	
負債純資産合計	7,337	7,920	582	

当社の受注は倍増し、好調に推移

日工会受注

(百万円)

2,000,000

1,800,000

1,600,000

1,400,000

1,200,000

1,000,000

800,000

600,000

400,000

200,000

0

日本工作機械受注 (1-12月)

前年同期比：70.9%増

太陽工機受注 (1-12月)

前年同期比：107.0%増

□ 工作機械受注

○ 太陽工機受注

太陽工機受注

(百万円)

20,000

18,000

16,000

14,000

12,000

10,000

8,000

6,000

4,000

2,000

0

2008年 2009年 2010年 2011年 2012年 2013年 2014年 2015年 2016年 2017年 2018年 2019年 2020年 2021年

1,541,419

8,838

12,740

10,743

6,205

7,667

6,939

4,600

5,556

6,379

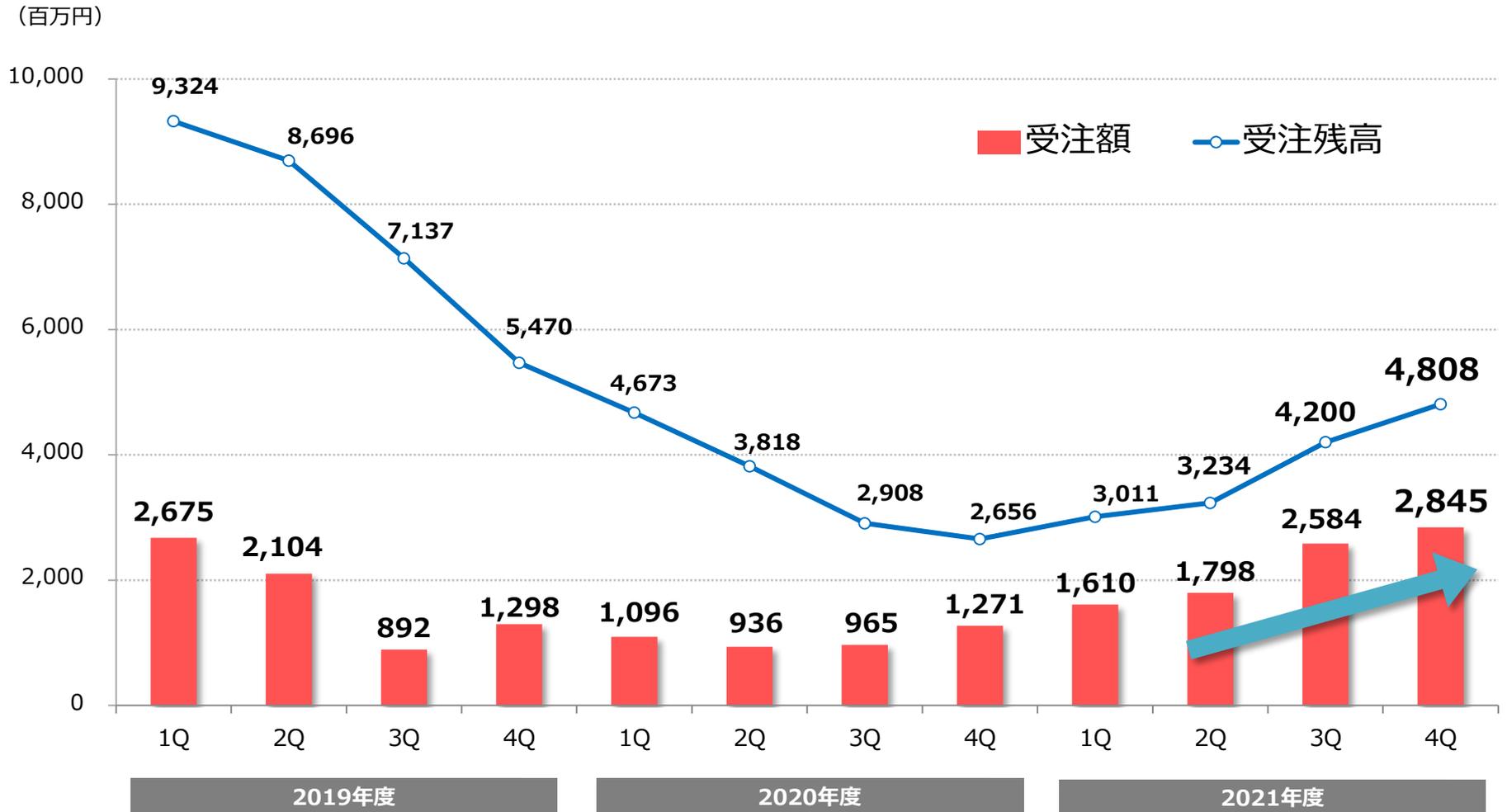
3,972

1,285

6,564

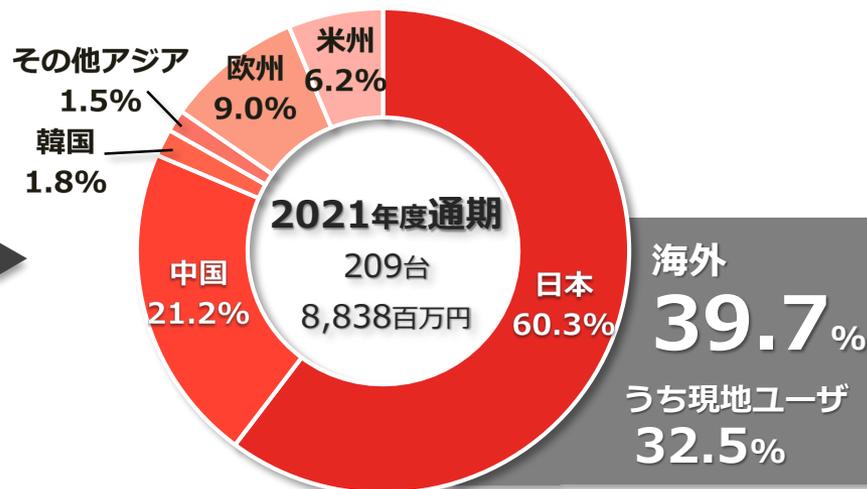
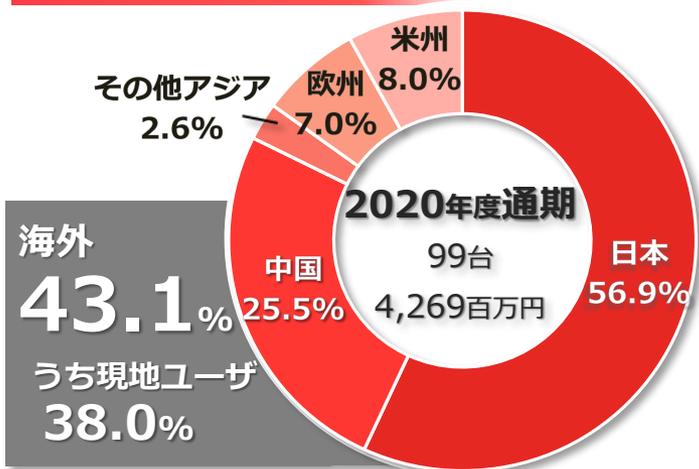
※工作機械受注…日本工作機械工業会受注実績より

受注・受注残高ともに右肩上がりで増加

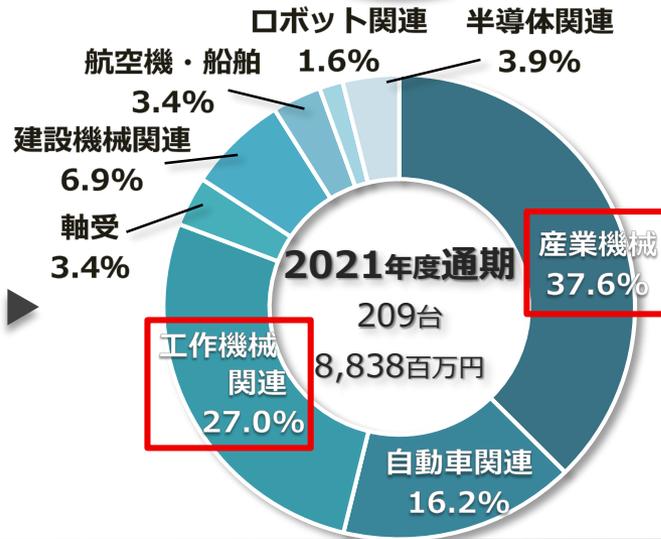
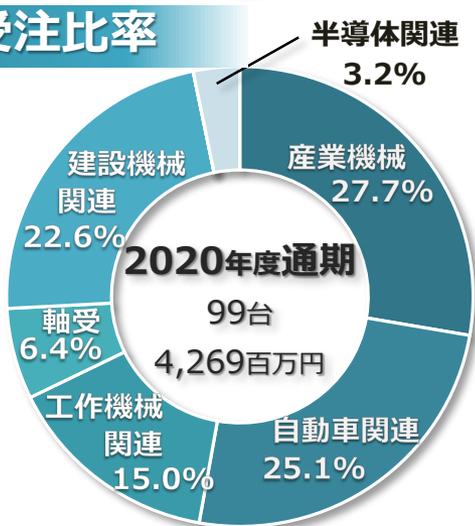


海外比率約40%、産業機械と工作機械関連が好調

据付地別 受注比率



業種別 受注比率



Next plans

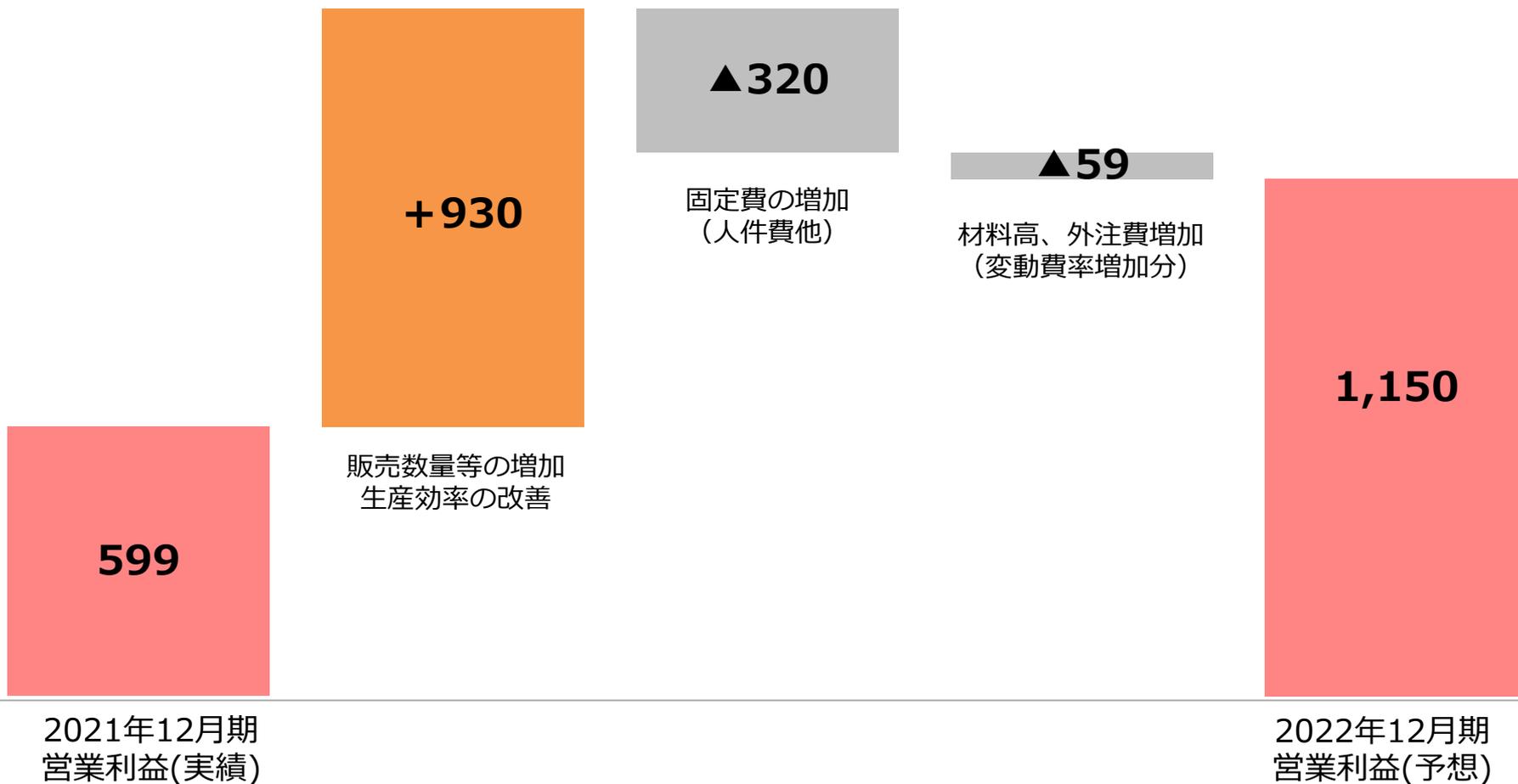
2022年度 通期計画

受注は100億円を計画、営業利益率2ケタ回復へ

(百万円)	通期(1-12月)		前期比
	2021年度 実績	2022年度 計画	
受注高	8,838	10,000	+ 13.2%
売上高	6,687	9,000	+ 34.6%
営業利益	599	1,150	+ 91.8%
営業利益率	9.0%	12.8%	+ 3.8p
経常利益	652	1,150	+ 76.3%
当期純利益	441	780	+ 76.8%

数量増効果大、人件費の増加を吸収して大幅増益へ

(単位：百万円)



日本・欧州・米州／産業機械関連・工作機械が好調維持

地域別

減少傾向 ← 変動なし → 増加傾向



日本



欧州



米州



中国



アジア

※中国を除く



業種別

減少傾向 ← 変動なし → 増加傾向



自動車関連



半導体



ロボット



工作機械関連

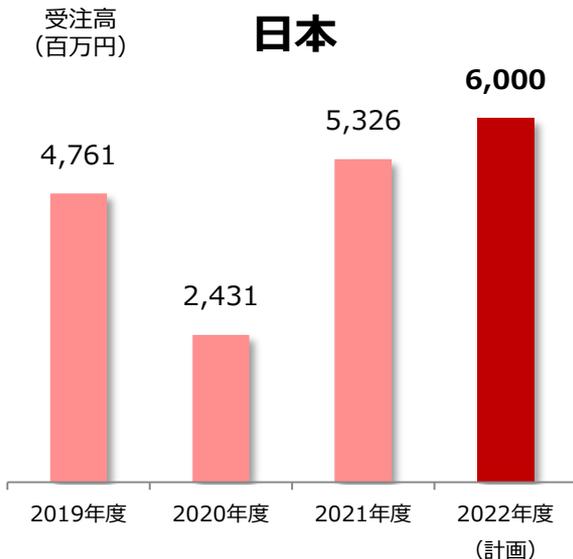


エネルギー



※ いずれも2022年度1Qの当社受注予想（2021年度4Qと比較）

2022年度は海外比率40%、40億円計画

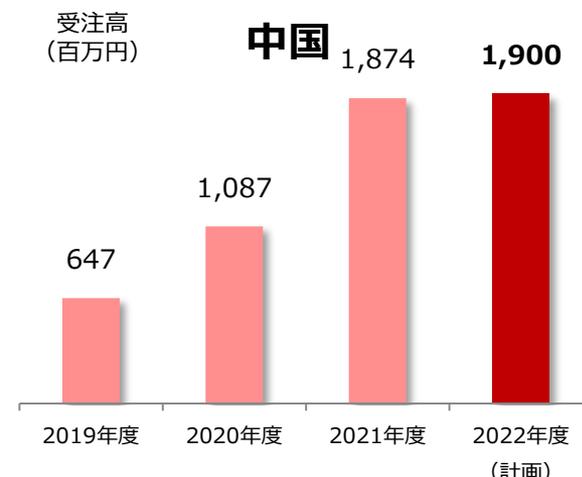
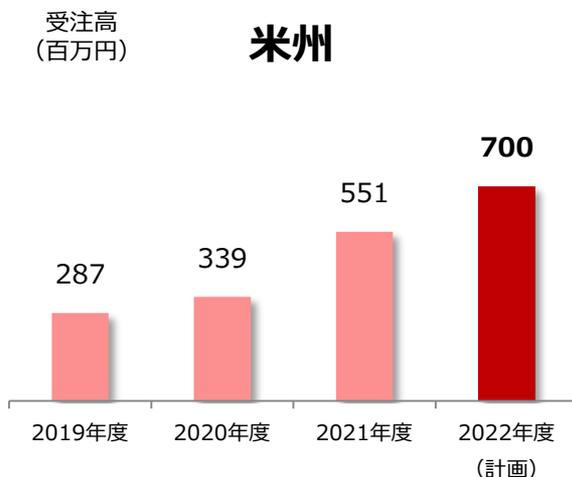
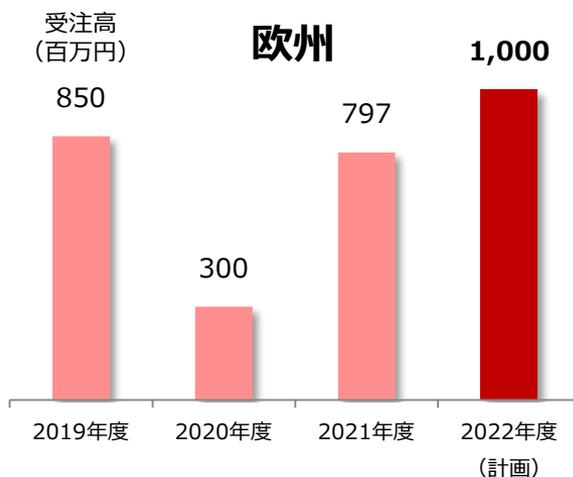


■ 国内市場

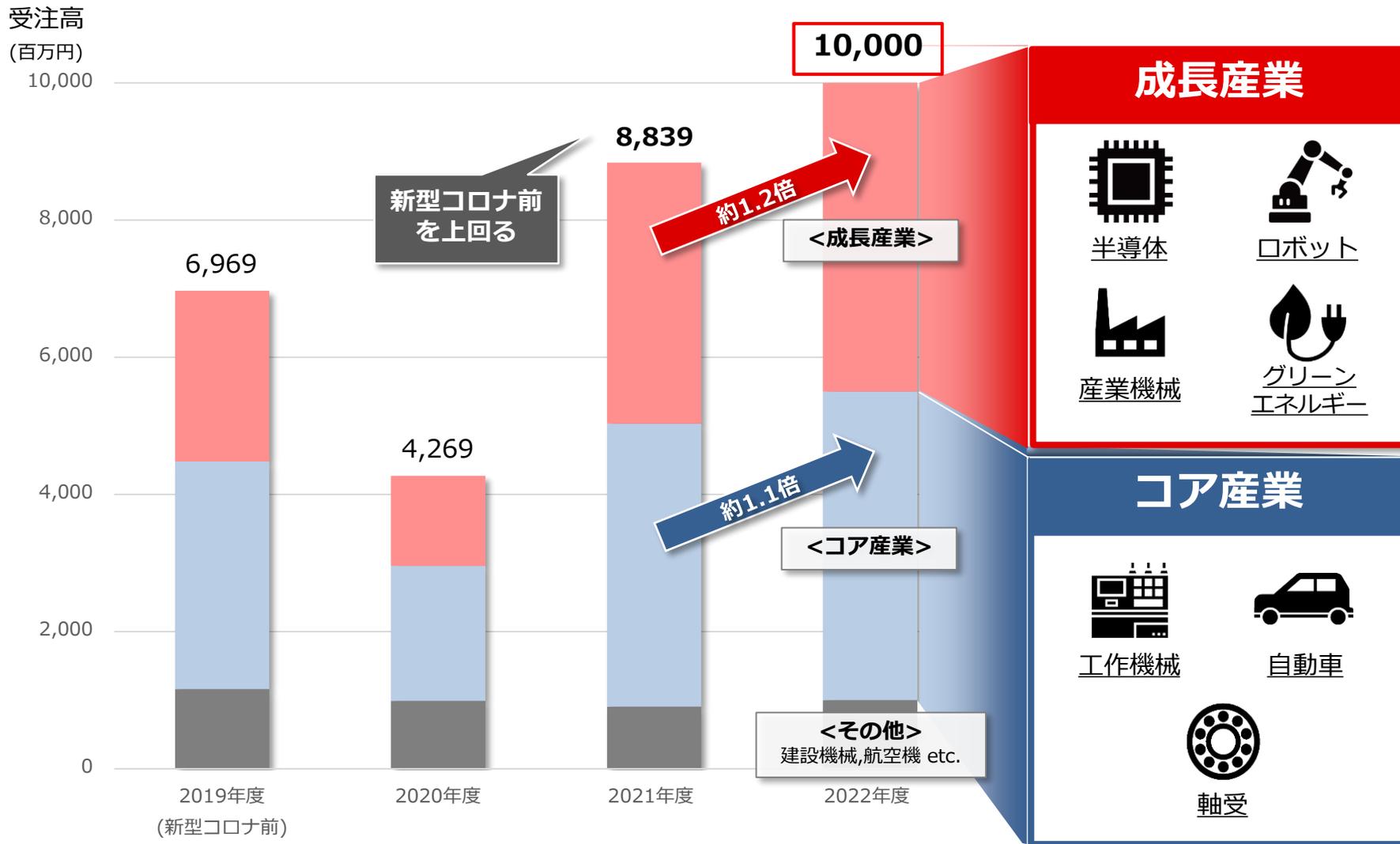
- 自動化オプション等の提案営業に注力
- 工作機械・半導体・軸受を中心に需要取り込み

■ 海外市場

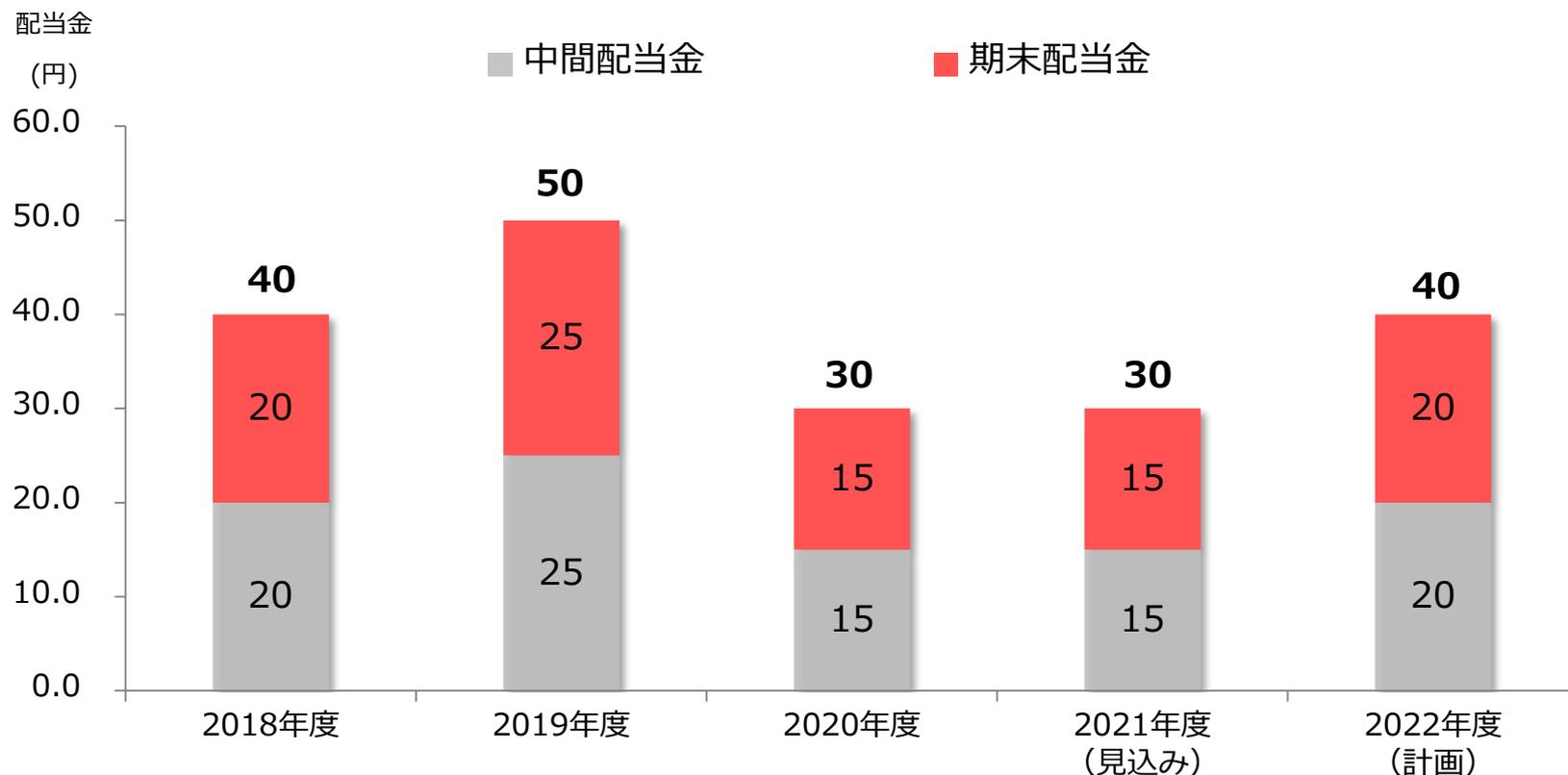
- 海外スタッフの強化、新機種投入による拡販
- 産業機械関連を中心に需要取り込み



成長・コア産業ともに回復が鮮明、100億円の大台を目指す



2022年度は10円増配し、年間配当40円を計画



配当性向

20.4%

24.2%

51.6%

40.0%

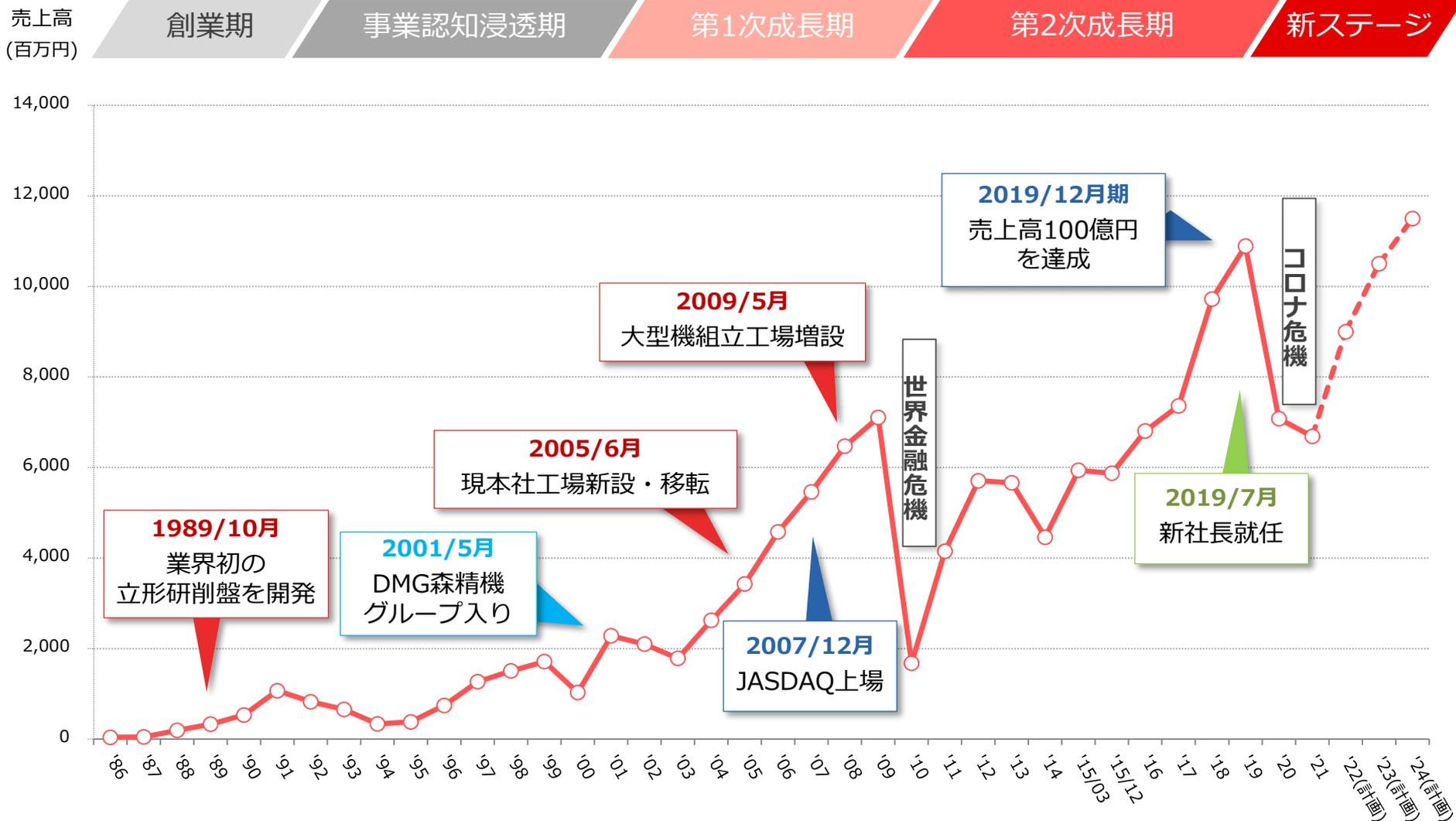
30.0%

※2019年度より株式分割後（2分割）の配当金となっております

※2018年度以前の数値は各期を比較しやすいよう、株式分割後の金額にて記載しています

Our Strategy

經營戰略



研削盤NO.1メーカーへ

売上高

200 億円

過去最高

108 億円
(2019年度)

営業利益率

20 %

過去最高

17.2 %
(2018年度)

海外受注比率

50 %

過去最高

43.1 %
(2020年度)

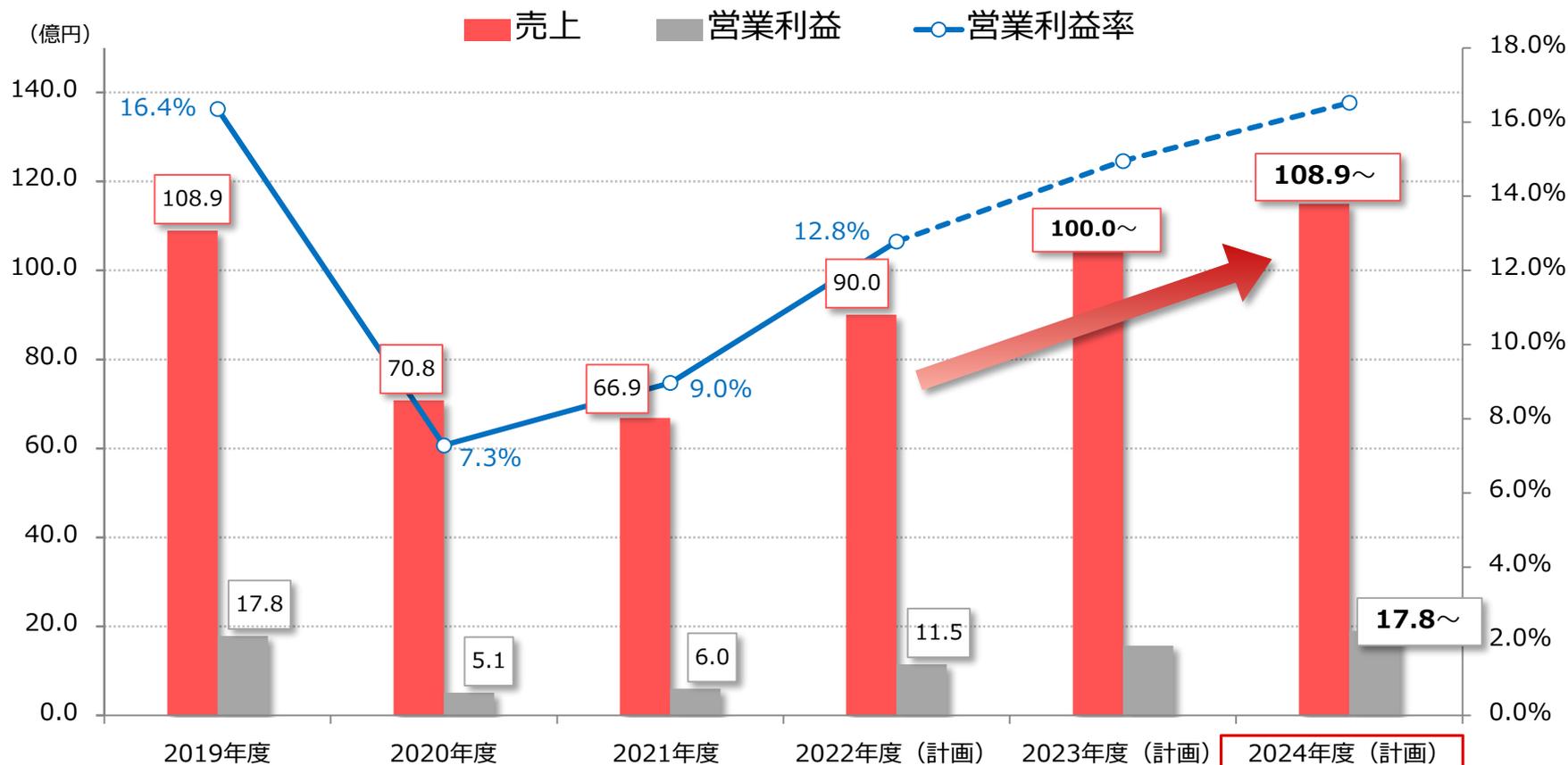
ROE

15 %
以上

現在

6.7 %
(2021年度)

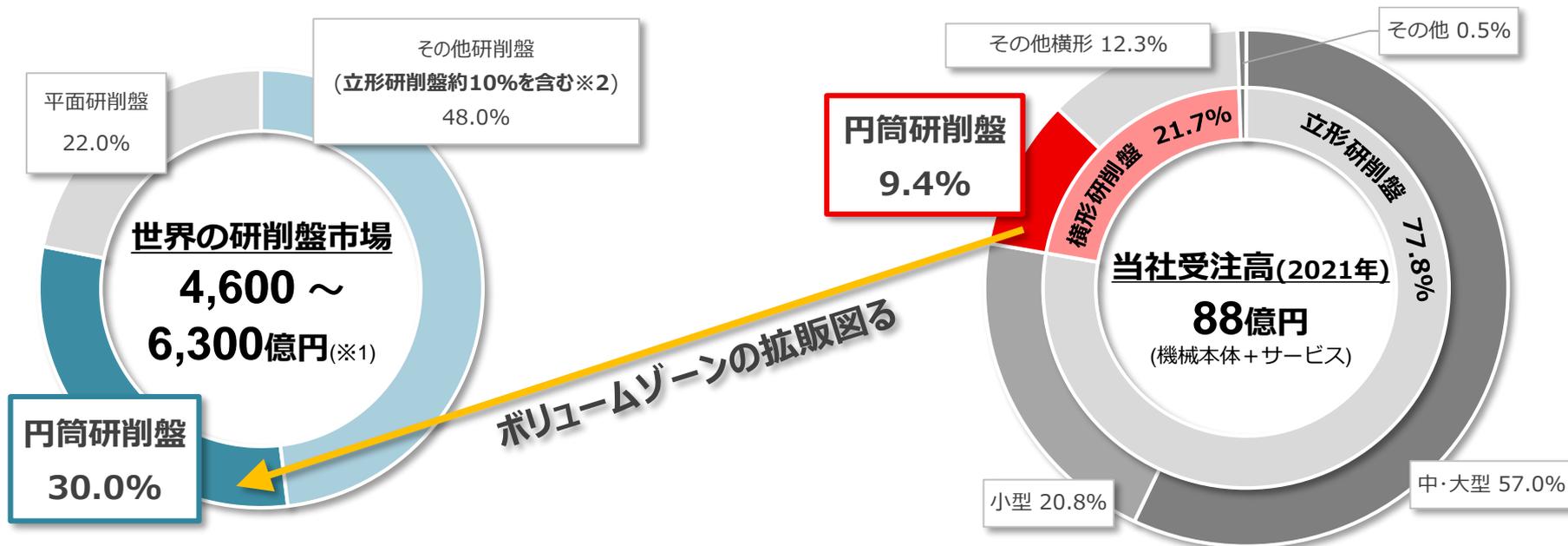
今後3年で売上高・営業利益ともに過去最高を目指す



売上高・営業利益
ともに過去最高

売上高・営業利益ともに
2019年度以上を目標

円筒研削盤を足がかりに 立形機のさらなる拡販を図る



▶ 取り組み

- 円筒研削盤をリニューアル
- 海外向け販売体制を継続強化

▶ 目標

- 円筒研削盤市場のシェア獲得
- +
- 海外ユーザに対し「立形研削盤」の認知向上を促進、拡販の素地を創出

※1 VDW / Oxford Economics “VDW Market Report 2020” 及び日本工作機械工業会「工作機械機種別受注額(2021年確報)」をもとに当社推計。1€ = 130.0円にて換算。

※2 当社調べによる。

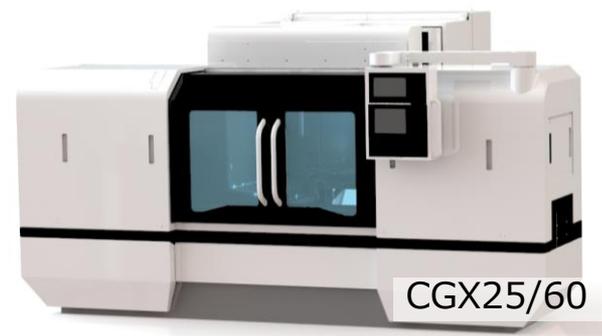
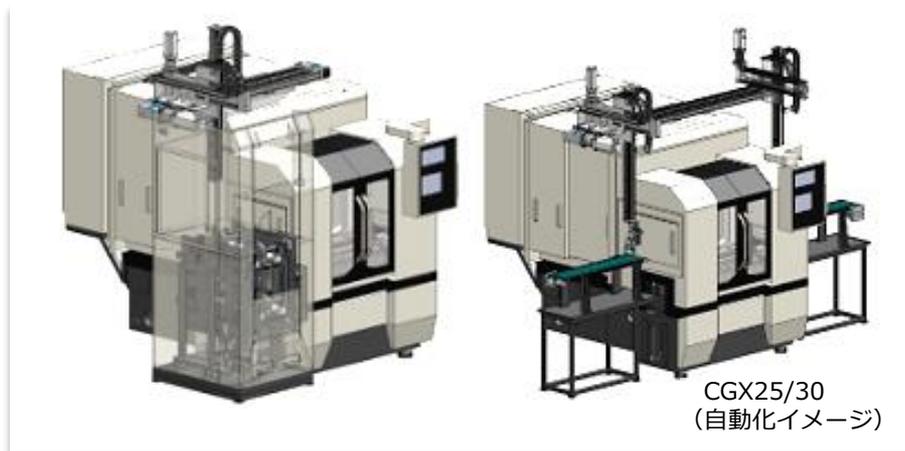
海外展開強化に向けた 次世代の円筒研削盤

・円筒研削盤のラインナップ強化

- － CEマーキング（EU基準）適合
- － 多言語対応の対話式オペレーションシステム標準化

・従来機よりも幅広いニーズに対応

- － 小・中物ワーク ～ 長尺ワーク
（自動車部品など） （工作機械部品など）
- － オプションで多彩な複合加工・オートメーション対応



新工場用地を取得 3年以内に建屋を建設予定

- ・売上高200億円達成に向け、新工場計画が進行中
- ・用地取得 … 2022年3月予定
- ・工場建設 … 用地取得から3年以内を予定

【新工場用地取得の詳細（予定）】

面積	105,000㎡（約31,800坪）
価額	864百万円
取得時期	2022年3月
取得資金	自己資金



・地図：国土地理院地図データをもとに弊社作成
 ・航空写真：以下の著作物を改変して利用
 「[地理情報 \(GIS\) 航空写真](#)」、長岡市、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス表示4.0国際

待遇向上により優秀な人材の確保を図る

- ▶ 新卒・中途採用活動拡大による人員強化を推進中。
その一環として、以下の待遇向上の取り組みを実施

・ 初任給増額 (2022年4月～)

【参考】

区分	現在	増額後	新潟県平均	全国平均
修士了	226,000円	→ 239,000円 (+13,000円)	データなし	238,900円
学部卒	210,000円	→ 222,000円 (+12,000円)	209,000円	210,200円
専門・高専等卒	192,000円	→ 206,000円 (+14,000円)	181,000円	183,900円
高校卒	182,000円	→ 194,000円 (+12,000円)	175,000円	167,400円

・ ベースアップ (2022年4月～)

勤続年数や年齢等に応じて実施
平均年齢37歳／月額基本給平均4.6%増額

・ 年間休日増 (2023年1月～)

現在：120日 → 変更後：122日

・ 12時間インターバル (2020年6月～完全実施)

出勤～退勤の在社時間 … 12時間以内
退勤～次の出勤まで … 12時間以上 とすることを義務付け

出典：

- ・新潟県平均 … 新潟労働局職業安定課「令和3年3月卒新規学校卒業者初任給情報」
- ・全国平均 … 厚生労働省「令和元年賃金構造基本統計調査（初任給）の概況」

TAIYO KOKI

One machine, One answer

(証券コード : 6164)

IRに関する
お問い合わせ先

株式会社太陽工機 管理部

TEL: 0258-42-8808 URL: www.taiyokoki.com



【将来予測について】

当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断及び仮定に基づいております。今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。なお、不確定性及び変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- ▶ 為替相場の変動
- ▶ 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- ▶ タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- ▶ 当社が営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ

【お取り扱い上のご注意】

本資料は、当社をご理解いただくために作成したのもので、当社へ対する投資の勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の情報は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。